

# 東峰村のこうなったらいいなをみんなで語る会 活動報告 vol.7

令和6年10月30日(水)

今回の協議会では、コンビニエンスストアの担当者の方にお越しいただき、『東峰村でコンビニエンスストアを運営するなら聞いておきたいこと』をテーマに意見交換を行ないました。実際に、コンビニエンスストアの担当者の方のお話を聴けたことで、東峰村での買い物拠点設立に具体的なイメージを持つことが出来る機会となりました。

キーワードは、

『東峰村に住む私たちが応援したい、協力したい！店舗なのか』



## コンビニエンスストアの担当者の方とお話して分かったこと

その1：「自分たちが望んだ環境を維持できるように、一人ひとりの応援する意識が必要！」

▶今回のアンケート調査の結果で、住民や村外から村へ働きに来ている多くの方が、東峰村で買い物ができるお店を求めていることが分かりました。そうであるならば、せつかく村に店舗ができた場合は、東峰村でいつまでも買い物ができるように、住民が応援していく必要があります。多くの方が応援しやすい形は、やはりその店舗で買い物をする事です。ですが、応援の形にはさまざまあり、たとえば店舗で働くことも応援の形のひとつ。私たちが望んだ買い物環境をいつまでも維持できるようにするためには、私たち一人ひとりの意識が重要なようです。

## コンビニエンスストアの担当者の方とお話して分かったこと

その2：「協議会でこれまで話し合ってきたコミュニティスペースや屋外トイレの併設について」

▶都市部にあるコンビニエンスストアの形態ではなく、東峰村のこうなったらいいなを語る会でこれまで話し合ってきたように、住民のつどいの場となるようなコミュニティスペースや、東峰村に来てくださった方々のためにも屋外トイレを設置したい！というような要望にも沿える、東峰村らしいコンビニエンスストアの実現の可能性もあり得るようです。大切なことは、どんな店舗であれば、東峰村の住民が応援したくなる店舗であるか、です。東峰村らしい店舗の実現のためには、付帯設備もさらに協議していく必要があります。

## コンビニエンスストアの担当者の方とお話して分かったこと

その3：「これまでの東峰村で行なってきた買い物支援との連携について」

▶これまで東峰村では、買い物支援のために、移動スーパー・とほっぴ号を運営してきました。店舗まで行くことが困難な住民の方のためにも、自宅の近くまで販売に来るとほっぴ号は大切な買い物の機会です。そのため、店舗ができた場合も、とほっぴ号とも連携することで、より充実した買い物環境にできる可能性が高まるようです。



東峰村での買い物のしやすさを高めるためには、東峰村で暮らすみなさん一人ひとりの応援が必要になります。これからも、東峰村のこうなったらいいなをみんなで語る会は、協議会を重ねていきますので応援のほどお願いします！